

出会うところ我が生命

広島県 龍興寺 住職 森永勝也

先日、新型コロナウイルスに感染しました。一時期の流行を過ぎているとはいえ、ウイルスがなくなったわけではないと実感しました。そのウイルスの影響で私は味覚や嗅覚が低下し、今まで感じていた味や、匂いの感覚が麻痺しました。食事も「なんとなくこんな味だろう」「こんな匂いをするのだろうか」と思い食べるのですが、味気なく感じます。味覚、嗅覚が低下するだけで、こんなにも食事がぼやけて感じるのは初めてのことでした。この経験を通して、味や匂いも、私を作り上げている大切なことだと気づきました。

以前、高名な僧侶である内山興正老師の言葉、「出会うところ我が生命(せいめい)」に感銘を受けました。生きていけば、必ず自分にとって、好きなものや、好ましい事、好ましい人に出会いますが、また、逆に、嫌いなものや、不都合な事、嫌いな人にも出会います。

私たちには、「好き」だけを取り、「嫌い」を全て排除することなどできるはずありません。嫌いなもの、自分に不都合な事も含めて、全てが私という一つの生命を作り出し生かしてくれているのです。「出会うところ我が生命」この言葉を大切に、いつも心に留めておきます。

この度のコロナウイルス感染で、味覚、嗅覚が低下した私にとって、不都合な現実も我が生命なのです。嫌いも不都合も、「我が生命」としていただく事は、なかなか難しい事かもしれませんが、「出会うところ我が生命」と、一語一語かみしめながら、有り難くいただけるような自分でありたいと願っています。